



# 北東中だより

甲府市立北東中学校

令和4年10月3日

校長 竜澤規之

NO. 7 (10月号)

## 本校の学習状況と課題

### ～全国学力・学習状況調査の結果から～

令和4年4月19日(日)、全国一斉に中学3年生を対象とした『全国学力学習状況調査』が実施されました。このほど、本校における学習状況の分析結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

#### 【調査内容及び目的】

「教科に関する調査(国語・数学・理科)」と「学習環境や生活の諸側面等に関する質問紙調査」の2種類からなっており、「教科に関する調査」は、「(ア)身につけておくべき知識・技能等」と「(イ)知識・技能等を活用・実践・評価等する力」に関する問題が一体的に出題されました。

この調査結果を基に、本校生徒の学力や学習状況を分析・把握し、各教科における成果や課題、生活状況の実態等を明らかにすることで、今後の指導の改善に役立てることを目的としています。

### 分析結果の概要

#### 1 本校の状況

国語・数学・理科の3教科とも、県及び全国の平均を上回っており、良好な結果でした。特に、昨年同様、数学の得点は県及び全国の平均を大きく上回っています。しかし、各教科、領域ごとに分析すると、課題もあり、その課題(改善点・改善方法等)を考察し、克服に向けた取組を行っていきます。

	国語	数学	理科
山梨県	<b>70</b>	51	<b>50</b>
全国	69.0	51.4	49.3

※山梨県の平均点は整数になっています。太字は、山梨県が全国を上回っているものです。

#### 2 本校の主な課題

##### <国語>

- ▼書くことの領域において、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことに課題が見られる。
- ▼我が国の言語文化についての領域において、行書の特徴などの理解が不十分である。
- ▼言葉の特徴や使い方の領域において、文章に用いられている表現技法についての理解が不十分である。

##### <数学>

- ▼数と式の領域において、素因数分解に対する理解が不十分である。
- ▼数と式の領域において、数の性質を予想しその事柄を式を用いて表現することに課題がある。
- ▼関数の領域において、一次関数の変化の割合の理解が不十分であり、変化の割合と一次関数の表を関連付けて考察することに課題がある。

##### <理科>

- ▼実験によって得られたデータについて、科学的根拠をもとに説明する力に課題が見られる。
- ▼課題解決のために必要な実験を計画する力に課題が見られる。
- ▼身近な事象について、科学的に説明・表現する力に課題が見られる。

#### 3 教科における主な改善点

##### 〔国語〕

- 根拠に基づいて、自分の考えを周囲に発信する場面を多く設定する。
- 書写の授業と関連付けて、現代の楷書以外の字体の特徴や良さを考える学習活動を計画する。
- さまざまな種類の文章に触れられるようにし、その表現の工夫や特徴について、周囲と対話するような時間を確保する。国語便覧を活用し、知識の拡充を図る。

##### 〔数学〕

- 既習事項の中で基礎的な内容を復習する時間を授業内で設定する。

- 事象の中に数量の関係を見だし、文字を用いた式で表したり、数量の関係を推測し、それを文字を用いた式を使って説明する場面を授業内で設定する。
- 一次関数の表、式、グラフの関係性を整理し、それらを活用する授業を計画し、生徒が知識の整理を行う機会を設ける。

[理科]

- 根拠に基づいて、自分の考えを科学的に表現する場面を設定する。
- 課題解決に向けて、必要な実験を計画・実行する学習活動を取り入れていく。
- 身近な事象と学習内容を結びつける場面を設定する。また、日常生活における自然事象に関わる疑問や気づきを学習活動の導入として取り入れる。

## 学習環境、生活の諸側面等状況調査(質問紙調査)の分析結果の概要

### ■肯定的回答が非常に高い(80%以上)質問項目

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| ○朝食を毎日食べている           | ○いじめはどんな理由があってもいけない |
| ○毎日同じくらいの時刻に就寝・起床している | ○人が困っているときは進んで助けている |
| ○自分がやると決めたことはやり遂げる    | ○学校に行くのが楽しい         |
| ○人の役に立つ人間になりたい        | ○友だちと協力するのは楽しい      |
| ○自分と違う意見について考えるのは楽しい  |                     |

### ■【学習面で】肯定的回答が非常に高い(80%以上)質問項目

- 学校の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ
- 1,2年生の時に受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した
- 1,2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ
- 1,2年生の時に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた
- 国語の勉強は大切だと思う。 ○国語の授業の内容はよく分かる
- 国語の授業で学習したことは、社会に出たときに役立つと思う ○数学の授業は大切だと思う

## 2 本講の主な課題

質問紙調査からうかがわれる課題については、次の2点が挙げられます。

### (1)新聞(活字)離れ

「新聞をほとんどまたはまったく読まない」という回答が9割を超えており、「読書が好きではない」と読書に否定的な回答が3割を超えています。PC等のデジタル機器でニュースを見たり、情報を得たりすることが増えているかもしれませんが、この調査結果から文章に触れる機会が減少していくことの恐れがあります。今後も引き続き、ICT機器の活用と並行して、文章や活字を読む機会を確保していく必要があります。

### (2)地域との関わりが希薄になっている

「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることはありますか」「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることはありますか」という質問項目に対して、多くの生徒が否定的な回答をしています。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域との交流機会が減少していることも大きな要因ですが、そうした状況下においても、新学習指導要領でも求められている「社会に開かれた教育課程」の実現を、学校全体で目指していかなければなりません。

## 学校としての今後の取組

これまでの分析を踏まえ、今後の取組について以下のように改善を図ります。

- ①教科で課題となった主な改善点をふまえ、授業において指導方法の工夫を図る。
- ②各教科の授業において、「個別最適な学習」「協働的な学習」を取り入れた授業を行う。
- ③基礎的・基本的な学習内容について、ICT機器を効果的に利活用する。
- ④授業において、「何を学ぶのか」「何を学んだのか」が実感できるよう、授業の最初に「見通し」を立て、また、授業の終わりに「振り返り」を行う。
- ⑤生徒が動き出したいくなる課題を設定し、「主体的、対話的で深い学び」を意識した創意ある授業を展開する。
- ⑥健康で安全な学校生活を送れるよう、保護者や地域住民との連携・協働を図る。